

受験上の主な配慮の事例

※以下は、これまで本学において実施された配慮の一例です。

すべての申請について同様の配慮が認められることを示すものではありません。

配慮の可否および内容は、提出された申請書および診断書の記載内容に基づき個別に判断します。

種別	受験上の主な配慮の事例
視覚障害	問題冊子・解答用紙の拡大 別室（個室）の設定 照明器具の持参使用 拡大鏡の持参使用 試験会場への乗用車での入構 試験室入り口までの付添者の同伴
聴覚障害	補聴器又は人工内耳の装用 重要事項等の文書による伝達 座席位置の調整
肢体不自由	別室（個室）の設定 試験時間の延長 試験会場への乗用車での入構 試験室入り口までの付添者の同伴 エレベーターの使用 車椅子の持参使用 杖の持参使用 試験室・座席位置の調整
発達障害	問題冊子・解答用紙の拡大 別室（個室）の設定 試験時間の延長 重要事項等の文書による伝達 座席位置の調整
精神障害/病弱/その他	別室（個室）の設定 試験会場への乗用車での入構 試験室入り口までの付添者の同伴 杖の持参使用 エレベーターの使用 試験室・座席位置の調整 試験時間中の薬の服用（薬・水の机上常備） 試験時間中の水分補給（水分の机上常備） 試験時間中の補食（補食の机上常備）

※上記に記載のない配慮でも、希望の内容およびその必要性を説明いただければ個別に検討いたします。